

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公開番号】特開2019-118479(P2019-118479A)

【公開日】令和1年7月22日(2019.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-029

【出願番号】特願2017-253984(P2017-253984)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月22日(2020.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の遊技媒体を用いて遊技を行うことが可能な遊技機であって、

第1可動演出手段と、

第2可動演出手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、

外部からの入力に基づいて演出に関する設定を行うことが可能な設定手段と、

識別情報の変動表示を行う識別情報表示手段と、

前記変動表示の表示結果が特定表示結果となつたことに基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、を備え、

前記演出には、前記変動表示中の第1時期に前記第1可動演出手段が動作する第1可動演出と、前記変動表示中の前記第1時期より後の第2時期に前記第2可動演出手段が動作する第2可動演出と、があり、

前記演出に関する設定として、前記第2可動演出に関する設定を行うことが可能であり、

前記演出実行手段は、前記設定手段による設定内容に基づいて前記第2可動演出を実行可能であり、

前記第2可動演出に関する設定として、前記変動表示の表示結果が前記特定表示結果となる場合の前記第2可動演出の実行態様を、前記第2可動演出が所定確率で実行される態様または該所定確率よりも高い確率で実行される態様に、設定可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前述の課題を解決するために、本発明は以下の構成を採用した。

すなわち、本発明の遊技機は、

所定の遊技媒体を用いて遊技を行うことが可能な遊技機であって、

第1可動演出手段と、

第2可動演出手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段と、

外部からの入力に基づいて演出に関する設定を行うことが可能な設定手段と、

識別情報の変動表示を行う識別情報表示手段と、

前記変動表示の表示結果が特定表示結果となったことに基づいて、遊技者にとって有利な特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、を備え、

前記演出には、前記変動表示中の第1時期に前記第1可動演出手段が動作する第1可動演出と、前記変動表示中の前記第1時期より後の第2時期に前記第2可動演出手段が動作する第2可動演出と、があり、

前記演出に関する設定として、前記第2可動演出に関する設定を行うことが可能であり、

前記演出実行手段は、前記設定手段による設定内容に基づいて前記第2可動演出を実行可能であり、

前記第2可動演出に関する設定として、前記変動表示の表示結果が前記特定表示結果となる場合の前記第2可動演出の実行態様を、前記第2可動演出が所定確率で実行される態様または該所定確率よりも高い確率で実行される態様に、設定可能である

ことを要旨とする。